

『競輪における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン（令和2年10月26日改訂）』
『新型コロナウイルス感染症対策要綱』（2020年10月29日改訂）』に基づく

競輪開催における 新型コロナウイルス感染拡大防止対策事例集

【競輪競技実施部門】



【競輪競技統括部】

第2版：2020年11月

目 次

◆はじめに	1
-------	---

◆対策要綱「7.選手管理について」(前検日～最終日)

・ 4.競輪場到着時	2
・ 5.到着後	3
・ 6.参加状況申告時	4
・ 7.参加受付(帰郷時も同様)	5
・ 8.選手控室	6
・ 9.検車確定検査(前検日)	7
・ 10.身体検査	10
・ 11.自由練習(ローラー練習)	11
・ 12.開催式	12
・ 13.輸送バス	13
・ 14.入浴	14
・ 15.夕食(朝食・昼食も同様)	15
・ 16.選手宿舎(居室)	17
・ 17.選手宿舎	18
・ 18.マッサージ	19
・ 19.就寝時	20
・ 20.起床時	20
・ 21.発熱者等発生時	21
・ 22.レース前	22
・ 23.レース後	23
・ 24.トイレ	24
・ 25.随時	25

・ その他「新型コロナウイルス感染予防ガイドブック (競輪選手向け)」	29
--	----

◆対策要綱「8.従事者等について」

.....	30
-------	----

◆対策要綱「9.選手取材にあたっての留意事項について」 (報道関係者あて)

.....	33
-------	----

◆対策要綱「10.取引先の対応について」

.....	38
-------	----

- ◆競輪界では、政府の『新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針』（令和2年3月28日：令和2年5月25日変更）（新型コロナウイルス感染症対策本部決定）に基づき策定した『競輪における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン』（令和2年5月29日・同10月26日改訂）を踏まえ、競輪関係団体で組織する新型コロナウイルス感染症対策本部において策定した『新型コロナウイルス感染症対策要綱』（2020年6月5日・同10月29日改訂）（以下「対策要綱」という）に基づき、安心して安全な開催を確保するために様々な対策を実施しています。
- ◆本資料（略称：競輪コロナウイルス対策事例）は上記『対策要綱』において整理された対策方針に基づき、本財団競技実施部門が開催施行者と連携・協力しながら競輪開催期間中（前検日～最終日）に各競輪場で実施している代表的な事例を取り纏めたものです。

（「対策要綱等の改訂」「対応策の変更」があった場合は該当箇所を更新していきます）

公益財団法人JKA 競輪競技統括部

5. 到着後

- ・マスク着用（アップ、ダウン時を除く）を義務付ける。



(検車場入口)



(検車場内)



(選手控室内)



掲示物

マスク着用の義務付け（入口・管理エリア内各所にポスター掲示）

6. 参加状況申告時

- ・できる限り2mを目安に（最低1m）間隔を確保する。



参加状況申告（体調等）入力端末の間隔をあけ、
マーキングを実施



参加状況申告（体調等）入力端末位置が近い場合
ビニールシート設置

対策要綱 7. 選手管理について

7. 参加受付（帰郷時も同様）

- ・床へのマーキング（立ち位置表記）を実施する。
（概ね10人分（できる限り2mを目安（最低1m以上）））



マーキングの実施



距離確保・ビニールシート設置



ソーシャル
ディスタンス



掲示物

8. 選手控室

- ・ 選手控室に選手が滞留しないよう宿舎居室を積極的に活用する。
- ※フル使用率の5割減目安
- ・ 競走終了後の選手は極力立ち入らないよう別の待機場所の提供を検討する。
(会議室、休止中場内施設等)
 - ・ 選手控室を利用する場合には、できる限り2mを目安に(最低1m)距離を確保するよう努め、一定数以上が同時に選手控室に入らないよう、入場制限、利用時間をずらすなどの工夫を行う。特に、スペースの確保や、常時換気を行うなど、3つの密を防ぐことを徹底する。



スペースの確保 (参加選手)
上: 通常控室・下: 別室

スペースの確保 (先頭員)
上: 通常控室・下: 別室



常時換気

9. 検車確定検査

- ・床へのマーキング（立ち位置表記）を実施する。（概ね10人分（できる限り2mを目安（最低1m以上））
- ・可能な限り検査時間の拡大を図る。



マーキングの実施



常時換気

9. 検車確定検査

<前検日：選手が確定検査に立会う場合の検査方法（例）※写真はJKA執務員によるリハーサル風景>



①選手はJKA執務員に自転車を渡す
(選手はビニールシート左側に進む)

②確定検査
(ビニールシート右側で検査実施)

③検査終了
(自転車を選手に戻す)

<前検日：選手が確定検査に立会わない場合の検査方法（例）>



①車名・ギヤ倍数確認

②選手は自転車組み立て後
スタンドに格納

③確定検査
(JKA執務員のみで検査を実施)

<ガイドライン5. b. i に基づく対応>

【黒文字の項目について対応例（写真）を掲載】

- ・ 工具などのうち、個々の選手が占有することが可能な器具については、共有を避ける。共有する工具については、定期的に消毒を行う。



消毒液設置（検車場）



工具等共用物の消毒励行



10. 身体検査

- ・ 医務室への入室は原則3名までとする。可能な限り検査時間を拡大する。
- ・ 落車発生時の同県選手の入室は原則1名とする。
- ・ できる限り2mを目安（最低1m以上）に距離を確保するよう努める。

参加選手各位
前検日身体検査時の医務室の入室は、
原則3名迄
となります。
新型コロナウイルス感染症対策本部
(JKA・全輪協・日競選)

参加選手各位
落車発生時の同県選手の入室は、
原則1名
となります。
新型コロナウイルス感染症対策本部
(JKA・全輪協・日競選)

医務室入口 掲示物



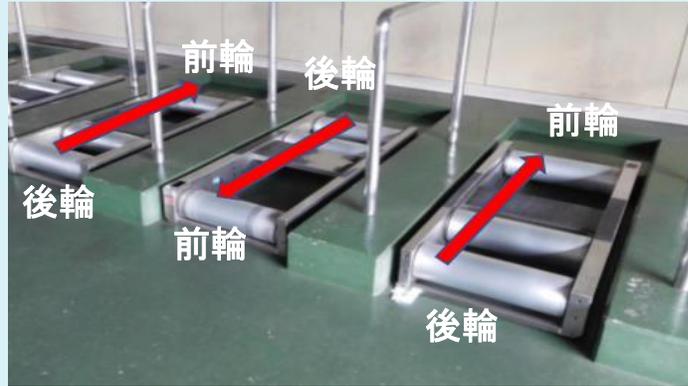
医務室前待機時 距離確保



医務室内 入室数制限・ビニールシートの設置
(血圧測定) (問診)

1.1. 自由練習（ローラー練習）

- ・練習台設置場所を1台おきとする等、できる限り2mを目安に（最低1m）間隔を空けることとする。（投票所施設の有効利用も考慮）



練習台の乗車向きを交互に



1台おきに練習台設置



施設の有効利用



練習台間にビニールシート設置

12. 開催式

- ・原則として放送により実施する。
- ・選手は宿舎居室にて待機する。



管理室の放送設備を使用して参加選手に諸事項伝達

13. 輸送バス

- ・ 運転席との間にビニールシート等で仕切りを設置する。
- ・ 可能な限り増便するとともに、できる限り2mを目安に（最低1m）乗車区分を明確にし、座席間隔を十分に確保の上、バス内必要か所のアルコール消毒の実施や常時換気を行う等、3つの密を防ぐことを徹底する。



運転席との間に
ビニールシート設置



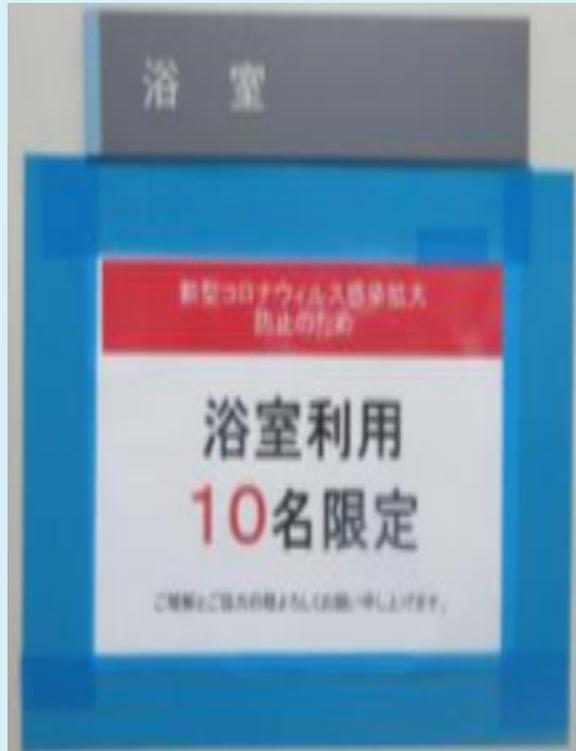
選手は間隔を確保して乗車
※写真はイメージ



常時換気

14. 入浴

- ・サウナの使用禁止、小グループでの入浴、人の距離の確保（できる限り2m（最低1m））、個人用タオルやブラシ等の持参、会話を控えることを行う。
- ・更衣室、ドライヤー等の備品の消毒、換気強化等を行う。



浴室入口 掲示物
(人数制限)



入浴人数制限（入口で入浴中の人数が分かる工夫）
脱衣所の距離確保・脱衣籠等備品の消毒



サウナ室閉鎖

新型コロナウイルス感染症対策の為、
サウナ室閉鎖

となります。

新型コロナウイルス感染症対策本部
(JKA・全輪協・日競選)

掲示物

15. 夕食（朝食・昼食も同様）

- ・選手毎（地区毎）に夕食時間を指定する（～30分）
- ・椅子へのマーキング（**×**印）によりできる限り2m（最低1m）の距離を確保し、対面で座らないなどの工夫を行う。
- ・可能な限りセットメニューとする。ビュッフェ方式で食事を提供する場合には、料理を小皿に盛って提供する、スタッフが料理を取り分ける、選手ひとりひとりに取り分け用のトングやお箸を渡し、使い終わったトングは回収・消毒してトング類を共用しないようにする等を徹底する。
- ・飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食を制限する。
- ・当分の間飲酒は禁止とする。

参加選手各位

新型コロナウイルス対策の一環として、
食堂の利用は、

30分程度

をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策本部
(JKA・全輪協・日競選)

新型コロナウイルス感染症対策の為、

飲酒不可

となります。

新型コロナウイルス感染症対策本部
(JKA・全輪協・日競選)

食堂内外 掲示物

15. 夕食 (朝食・昼食も同様)



椅子へのマーキング 距離確保・対面回避



セットメニュー方式



ビュッフェ方式
①料理を小皿で提供
(食品をラップでカバー)



ビュッフェ方式
②スタッフによる取り分け
(ビニールシート設置)



ビュッフェ方式
③使い捨て手袋の用意(食品をラップでカバー)



対策要綱 7. 選手管理について

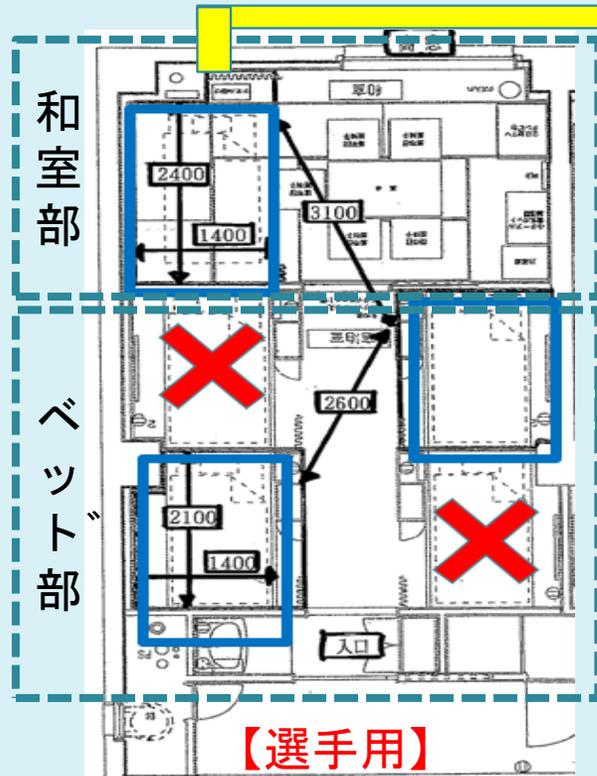
16. 選手宿舎（居室）

【黒文字の項目について対応例（写真）を掲載】

- ・可能な限り個室とする。
- ・個室とすることが難しい場合には、可能な限り同部屋選手数を減らし、かつ、同部屋の選手ができる限り2mを目安に（最低1m）距離を保てるよう、部屋内にパーテーション等を設置し、部屋の空間と選手配置について最大限の見直しを行い、飛沫対策を講じる。

※可能であれば分宿対応も検討する。

- ・選手の就寝時を除き、選手が部屋にいる場合において、窓が開く場合には1時間に2回以上、窓を開け換気する。宿舎全体や部屋の換気に努める。なお、機械換気の場合は窓開放との併用は不要である。



和室部に寢床を追加(カーテン設置)



17. 選手宿舎

- ・選手が多数集まる場所（喫茶コーナー、談話スペース等）の利用を制限する。



喫茶コーナーの利用制限



談話スペースの利用制限

18. マッサージ

- ・当分の間取り止めとする。

新型コロナウイルス感染症対策の為、

**マッサージは
取りやめ**

となります。

新型コロナウイルス感染症対策本部
(JKA・全輪協・日競選)

掲示物
マッサージ取り止め

19. 就寝時 20. 起床時

- ・ 就寝前・起床時検温の実施徹底。

検温実施

就寝前・起床時の検温を

必ず行ってください



新型コロナウイルス感染症対策本部
(JKA・全輪協・日競選)

掲示物
検温実施の徹底



体温計・除菌シート・記入表
選手宿舎各居室に配備

検温 記入表

体温計、起床時の検温を毎日、この欄に記入して下さい。
居室での検温結果を毎日記入して下さい。
検温時に手洗いや手指消毒をお願いします。

氏名			
選手A	就寝時	℃	℃
	起床時	℃	℃
選手B	就寝時	℃	℃
	起床時	℃	℃
選手C	就寝時	℃	℃
	起床時	℃	℃
選手D	就寝時	℃	℃
	起床時	℃	℃

2 1. 発熱者等発生時

- ・ 37.5度以上及びかぜ等症状がある者はすぐに管理エリアから隔離し派遣医師の指示に従う。



(救護室)

病院輸送の際に参加選手と接触しない経路で移動可能な部屋を確保

22. レース前

- ・控室の換気徹底(ドア開放等)。
- ・選手間の距離の確保(できる限り2m(最低1m))。



出走前控室 換気徹底・距離確保



出走前控室備品 使い捨てペーパータオル



出走前控室 天井からビニールシート設置

23. レース後

- ・レース終了選手の自転車の受取りは出走選手1名につき原則1名までとする。
- ・その際の人との間隔は、できる限り2mを目安に（最低1m）空けるよう努める。



自転車受け取りは出走選手1名につき原則1名



掲示物

24. トイレ

- ・ 便器は通常の清掃で問題ないが、不特定多数が使用する場所は清拭消毒を行う。
- ・ トイレに蓋がある場合、蓋を閉めてから汚物を流すよう表示する。
- ・ ハンドドライヤーは利用を止め、共通のタオルは禁止し、ペーパータオルを設置するか、選手に個人用タオルを持参してもらう。



トイレ内 トイレ蓋閉め・ハンドドライヤー使用中止

25. 随時

【黒文字の項目について対応例（写真）を掲載】

- ・ 時間毎（例：レース毎）に管理施設全般のアルコール消毒を実施する。消毒できないものは、触れた後の手洗いや手指消毒を徹底する。
- ・ ゴミはこまめに回収し、鼻水や唾液などがついたゴミがある場合はビニール袋に密閉する。ゴミの回収など清掃作業を行う従事者は、マスクや手袋を着用し、作業後に手洗いを徹底する。
- ・ ユニフォームや衣服はこまめに洗濯する。



直前控室の消毒（レース毎）



こまめにゴミを回収（手袋使用）

25. 随時

【黒文字の項目について対応例（写真）を掲載】

- ・素手でのハイタッチや握手等を控える。



ハイタッチ・握手禁止 掲示物

その他

※上記の他、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、「密閉」「密集」「密接」の3密を避けるよう積極的対策を実施すること。



選手代表との懇談会
(前検日) 距離確保



自転車宅配便受付
ビニールカーテン設置



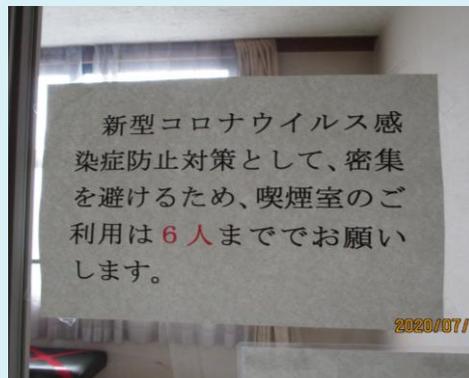
自転車宅配便受付
距離確保



管理棟内売店
ビニールカーテン設置



エレベーター内
定員制限・向き指定



喫煙所入口 掲示物
密回避



喫煙所内
密回避



感染疑いのある者の隔離場所確保

その他

※上記の他、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、「密閉」「密集」「密接」の3密を避けるよう積極的対策を実施すること。

新型コロナウイルス
感染予防ガイドブック

2020年11月版

競輪選手向け

(表面)

新型コロナウイルス感染症対策本部
COVID-19 Response Headquarters of KEIRIN

基本的な予防行動の徹底をしましょう

- 手洗い・手指消毒の徹底
※特に他人が触れたものに触れた後
- マスクの着用
- 咳エチケットの徹底
- 部屋の換気
- 栄養と睡眠を十分にとる
- 人混みや繁華街への
不要不急の外出を控える

競輪選手向け

新型コロナウイルスについて

感染状況は？
新型コロナウイルスの感染者数・死者数については、世界的に急激な増加が見られ、世界保健機関（WHO）は、3月11日、この感染症の拡大がパンデミック（世界流行）と形容されるを発表しました。その後感染は世界的な広がりを見せており、11月2日現在、新型コロナウイルス感染症による日本国内で感染が確認された人は、101,813例となっています。

どうやって感染する？
飛沫感染…感染者のくしゃみや咳、つばなどによる感染
接触感染…ウイルスに触れた手で口や鼻を触ることによる感染
5分間の会話で1回の咳と同じくらいの飛沫（約3,000個）が飛ぶと言われています。
※閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。

症状のない人からも感染する？
肺炎などを起こすウイルス感染症の場合は、症状が最も強く現れる時期に、感染させる可能性も最も高くなると考えられています。しかし、新型コロナウイルスでは、症状が明らかになる前から、感染が広がるおそれがあるとの専門家の指摘や研究結果も示されています。
出典元：厚生労働省

症状は？
発熱、強いだるさ、せきなど上気道症状がみられます。強い味覚障害や臭覚の異常を感じる（コラーが普通の炭酸水に感じられるなど）人もいます。一般のかぜより症状が長引くのが特徴ですが、約8割は軽傷のまま回復します。また、約2割の人は症状の悪化がみられ肺炎を起こします。高齢やせきの持続、呼吸困難等は肺炎のサインとして要注意です。患者の約5%がさらに重症化し、人工呼吸器等による集中治療が必要になります。

1. 選手同士の会食や飲み会は行わないこと！
※選手同士以外であっても大人数の会食や飲み会は行わないこと（家族を除く）
食事や飲み会の場での「3密回避」や「マスク着用」はなかなか難しく、会話することで飛沫が飛んでしまいます。また、お酒が入ると声が大きくなり、長時間 会話することで感染のリスクも高まります。
感染拡大状況が終息するまでの間は行わないでください。

2. 接触確認アプリ等を活用しよう！
「接触確認アプリ」は、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に、通知を受け取ることができるサービスです。
新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCCOA）ダウンロードページへのQRコード

(内面)

3. 「新しい生活様式」を身につけましょう！

自分自身や周りの人、そして地域を感染拡大から守るため、それぞれの日常生活において、自分の生活に合った「新しい生活様式」を実践しましょう。

日常生活

- ・毎日の体温・行動チェックを健康管理手帳に記入。
- ・食事は対面ではなく横並びで。
- ・マスク着用まめに手洗い。
- ・列に並ぶときは前後を空ける。
- ・キャッシュレス決済を活用。
- ・公共交通機関は混雑時間帯を避ける。

競輪参加時・帰郷時

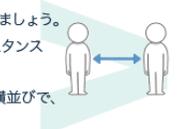
- ・移動する際は、極力単独で行動し、やむを得ず複数で同乗する場合はお互いに離れた座席を利用しましょう。

競輪参加中

- ・必ずマスクを着用しましょう。
※特に選手控室内は会話も多いことからマスク着用を徹底しましょう。
- ・管理エリア、選手宿舍（居室を含め）内は、ソーシャルディスタンスに気を付けましょう
- ・食事の際は、できるだけ単独もしくは少人数で、対面ではなく横並びで、30分以内を心がけましょう。

参加外練習時

- ・参加外の練習は、極力分散して行うこととし、控え場所、トレーニング場等を利用する場合は、マスク着用の上、三密を避けるよう細心の注意を払いましょう。
- ・選手同士のコミュニケーションはリモートツールも積極的に活用しましょう。


感染拡大を防止するため、各個人が「自分も感染しているかもしれない」という意識を持って行動することが大切です。

「新型コロナウイルス感染予防ガイドブック（競輪選手向け）2020年11月版」（A4版・二つ折り）

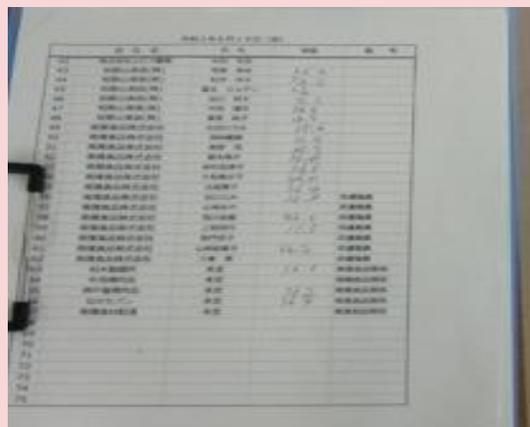
ガイドライン5. b.ii に基づく対応

【黒文字の項目について対応例（写真）を掲載】

- ・従事者は、出勤前に、体温や新型コロナウイルス感染症への感染を疑われる症状の有無を確認する。
- ・従事者が、できる限り2mを目安に（最低1m）距離を保てるよう、業務空間と人員配置について最大限の見直しを行う。
- ・従事者に対し、始業時、休憩後を含め、定期的な手洗いを徹底する。
- ・従事者に対し、勤務中のマスクなどの着用を促す（着用していない場合は個別に注意等を行うことも含む）。特に、複数名による共同業務など近距離、接触が不可避な業務工程では、これを徹底する）



執務員等出勤時の検温
(マスク着用)



関係業者来場時検温
記録表 (例)



選手宿舎
執務員用居室
に1名



選手宿舎事務室
空スペースに
1名



競輪場内
別スペースに
1名

選手宿舎 (JKA執務員就寝時 密回避)

ガイドライン5. b.ii に基づく対応

【黒文字の項目について対応例（写真）を掲載】

- ・飛沫感染防止のため、座席配置などは広々と設置する。仕切りのない対面の座席配置は避け、可能な限り対角に配置する、横並びにするなど工夫する（その場合でも最低1mあけるなどの対策を検討する。）
- ・人と人が頻繁に対面する場所は、アクリル板・透明ビニールカーテンなどで遮蔽する。



決勝審判室（ビニールカーテン）



走路審判室（ビニールカーテン）

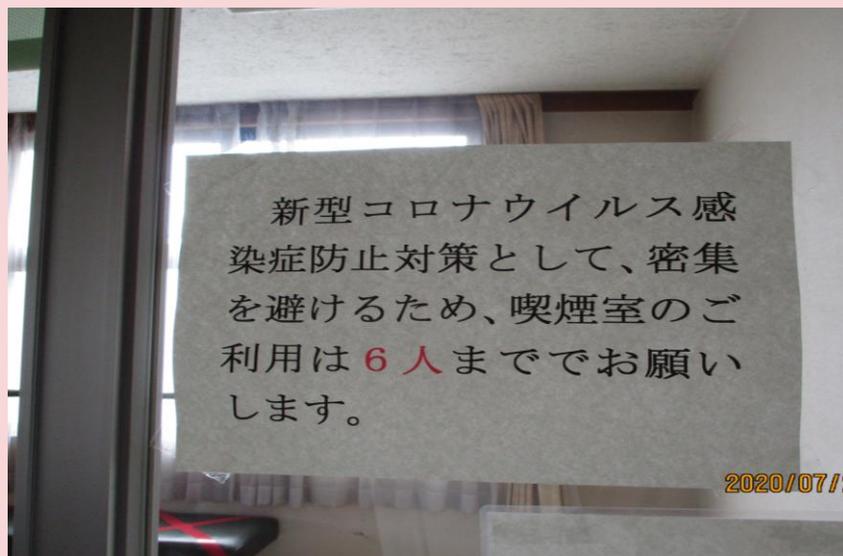


走路審判室壁向きに着席

ガイドライン5. b.iiに基づく対応

【黒文字の項目について対応例（写真）を掲載】

- ・喫煙を含め、休憩・休息をとる場合には、できる限り2mを目安に（最低1m）距離を確保するよう努め、一定数以上が同時に休憩スペースに入らないよう、休憩スペースの追設や休憩時間をずらすなどの工夫を行う。



喫煙スペースの人数制限・距離確保

前検日・開催中

【黒文字の項目について対応例（写真）を掲載】

- ・取材者の人数については各社で調整の上、最小限の人数でお願い申し上げます。取材をされない営業担当者等のご来場についてはご遠慮ください。
- ・取材前に検温するなどして体調管理に努め、体調不良(熱が 37.5 度以上・せき・鼻水・倦怠感・下痢・吐き気等)の方は競輪場への来場をご遠慮ください。

< 「対策要綱」に基づく報道関係者あて再周知文書（選手取材にあたっての留意事項について：2020年11月12日）に追記した項目 >

- ・また、過去 9 日間に発熱（37.5℃以上）のある方についても来場はご遠慮ください。
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある方、過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある方は競輪場への来場をご遠慮ください。
- ・各競輪場の報道受付（全プロを除く F I・F II 開催については各競輪場の守衛所等）に体温計を用意いたします。前検日から最終日まで、入場時に担当者が立会って検温を実施いたしますのでご協力をお願いします。（※早朝時の開門前などは自主検温にてお願いします。）
- ・検温により体温が 37.5 度未満であることが確認されましたら検温証明証をお渡しいたしますので、終日着用をお願いいたします。（毎日発行）
- ・あわせて、コロナウイルス拡大防止のため、健康状況の確認表の記入にご協力をお願いします。
- ・37.5 度以上の発熱がある方は、競輪場から退出していただきますのでご了承をお願いいたします。
- ・手洗い・うがい・咳エチケットの励行、消毒液による手指消毒をこまめに実施してください。

前検日・開催中



報道関係者受付 入門前検温



健康状況確認表の記入

健康確認表
(競輪場入場申告)

30日間保存
2020年 月 日

・現在、発熱（37.5℃以上）せき、鼻水、倦怠感、下痢、吐き気等の症状はありませんか？
 症状はない 症状がある

・本日より過去9日間に発熱（37.5℃以上）はありませんか？
 発熱はない 発熱があった

・新型コロナウイルスの「感染者」または「濃厚接触者」となっていますか？
 なっていない なっている

・マスクは持参していますか？（取材時のマスク着用は義務化されております）
 持参している 持参していません

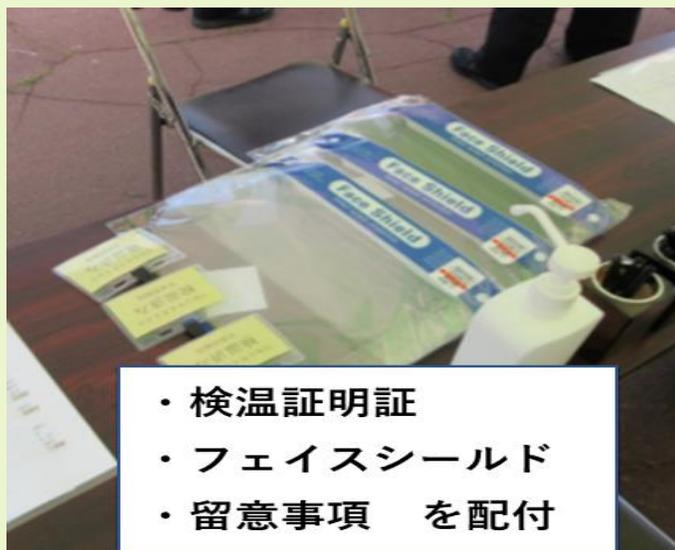
・入場する場所をすべて〇で囲んでください
 記者席 選手管理地区 その他（ ）

氏名（署名） _____
 社名 _____
 連絡先等 _____

※本競輪場において、関係者・取材者等に新型コロナウイルス感染者が発生した場合に連絡させていただきます。

検温実施結果 ℃

健康状況確認表

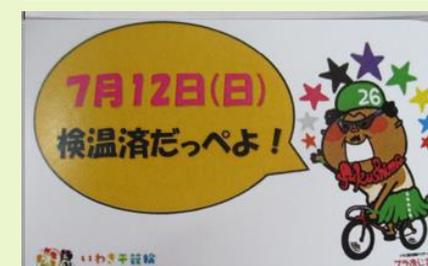
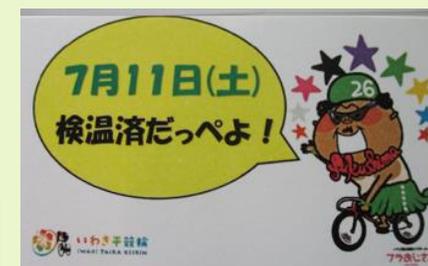
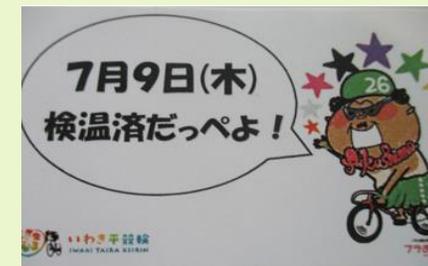


- ・ 検温証明証
- ・ フェイスシールド
- ・ 留意事項 を配付

受付確認後配布物



鉛筆は使用前・後で区分
使用済は消毒



検温証明証（毎日発行）

当開催につきましては、
新型コロナウイルス感染症防止の為、取材記者の
人数を制限しております。

記者クラブの会員・準会員であっても、当開催の
取材者リストに名前がない方の入室は、ご遠慮いた
だきます様、お願い致します。

報道事務局

掲示物（人数制限）

対策要綱 9. 選手取材にあたっての留意事項（報道関係者あて）

前検日・開催中

【黒文字の項目について対応例（写真）を掲載】

- ・ 選手取材にあたってはマスク着用を義務化いたします（※マスクは各自でご用意ください。）。なお、マスクを着用していない方の選手管理エリアへの立入りは厳重にお断りいたします。記者席内においてもマスク着用を励行してください。

< 「対策要綱」に基づく報道関係者あて再周知文書（選手取材にあたっての留意事項について：2020年11月12日）に追記した項目 >

- ・ 記者席内についてもマスク着用を励行といたしますが、GIII以上の開催に関しては、取材者が多いことから、マスク着用をお願いいたします。※夏季期間において熱中症のリスクがある場合を除く
- ・ 取材時は、選手と一定の距離（2m程度）あけてください。取材可能エリアにおいて選手の立ち位置及び取材者の立ち位置を明示いたしますので、指定された場所での取材をお願いします。
- ・ 選手と接する時間が長時間に亘らないよう行ってください。また、取材目的以外の選手とのコミュニケーションは控えてください。
- ・ 囲み取材はグレードにより人数を制限させていただいております。（※印を参照）また、取材者間で密接・密集しないようご注意ください。
※GP・GI・GII・GIII・全プロ・・・3名以内 FI・FII・・・2名以内

< 「対策要綱」に基づく報道関係者あて再周知文書（選手取材にあたっての留意事項について：2020年11月12日）に追記した項目 >

- ・ 検車場など選手管理エリアへの入場人数を制限する場合がございますのでご協力をお願いいたします。
- ・ 共同インタビュー等を実施する場合については、屋外若しくはそれに準じた場所で行います。
- ・ 記者席内の換気をこまめに行ってください。（1時間に2回）
- ・ 選手もマスク着用してインタビューを受けますのでご了承ください。
- ・ 選手胴上げについては、感染リスク防止の観点から行いません。
- ・ 開催中の取材全般につきましては、JKA競技実施担当者の指示に従ってください。

前検日・開催中



記者席 距離確保



記者席 マスク・消毒液配備



記者囲み取材 人数制限



記者囲み取材（勝ち上がり選手）
ビニールシートで区分



【共同インタビュー】
屋外・距離確保・ビニールシート設置(選手座席前)



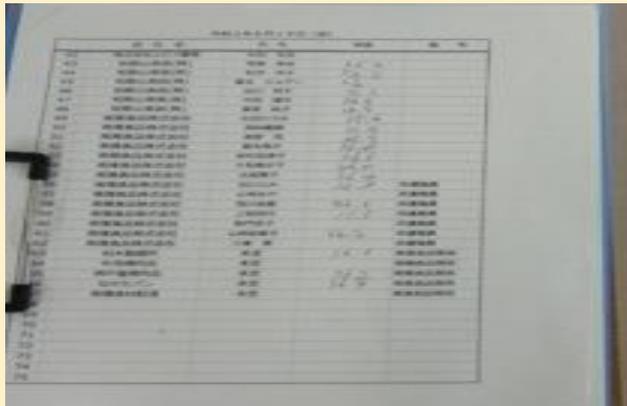
インタビュー終了毎にマイク・
椅子等、選手が使用した備品
を消毒



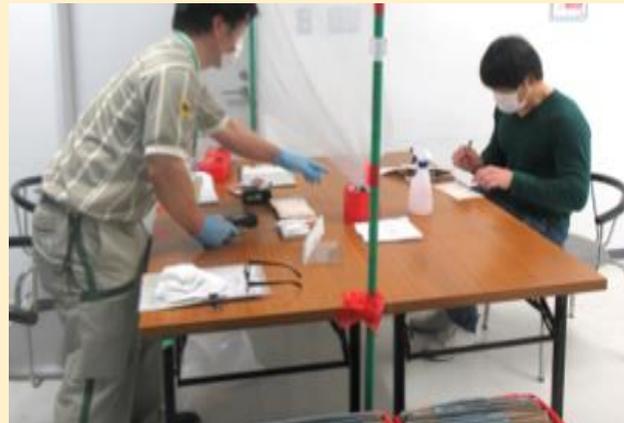
番組表の掲示 屋外

【黒文字の項目について対応例（写真）を掲載】

- ・立入りの人数については、最小限の人数で依頼する。
- ・体調管理に努め、体調不良(熱が37.5度以上・せき・鼻水・倦怠感・下痢・吐き気等)の場合は、立ち入りを認めない。
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合は、立ち入りを認めない。
- ・立入り時には、担当者が立会って検温を実施する。
- ・立入り時には、マスクを必ず着用する。
- ・日頃からの石鹸による手洗い・手指のアルコールによる消毒・うがい・咳エチケットを励行する。
- ・人との間隔は、できる限り2mを目安に（最低1m）空けるよう努める。



関係業者来場時検温記録表
(例)



自転車宅配便受付
間隔確保・ビニールシート設置・マスク着用